

学校 ICT の推進について

● 学校 ICT の現状

○ IT 新改革戦略（H18.1）→ 学校 ICT 環境整備補助事業（文部科学省：H21）により機器購入・整備

- ・パソコンルーム：デスクトップパソコン各校概ね 40 台・・・パソコン（キーボード）操作、資料作成、インターネット活用など
- ・学習用パソコン：ノートパソコン各校概ね 40 台・無線 LAN 機器・・・普通教室・特別教室における授業での調べもの学習など
- ・校務用パソコン：中学校教員 1 人 1 台、小学校は学習用パソコンを活用・・・指導案・通知表・各種校務文書の作成
- ・電子黒板：各校 1 台

○ 教育の IT 化に向けた環境整備 4 か年計画（文部科学省：H26～H29）

教育情報化の経費について地方財政措置（普通地方交付税）→ 補助事業により整備した機器の老朽化による更新（リース方式）

● 平成 29 年度の取り組み

（1）大型モニター・プレーヤーの導入

小学校での英語の正式教科化などに伴い映像教材の活用が必要

→ 60 インチテレビ、BD プレーヤー、可動式スタンドを購入

小学校：5、6 年生（53 クラス） 中学校：全学年（71 クラス）

（2）タブレット端末等の試験導入

南河原小学校において、学習用のタブレット端末等を試験的に導入

【機器】教師用タブレット 6 台・生徒用タブレット 10 台

実物投影機・6 台（全普通教室）

映写プロジェクター・スクリーン 6 台（全普通教室）



● 今後の動向・予定

- ・次期学習指導要領への対応のための教育 ICT 環境整備指針（仮称）の策定（文部科学省：本年度末）
- ・南河原小学校でのタブレット端末導入の拡大（H30 南河原中学校）及び検証
- ・既存機器類の更新経費の確保が課題

⇒ 児童生徒の学力向上・情報手段の活用能力 + 教職員の負担軽減の観点から

教育現場の声を聴きながら、使いやすさ・操作性を第一に、活用される学校 ICT の整備方針を定める